

# きこり 通信 2022年 冬

ご感想お寄せいただけると励みになります。また、紙面では伝えきれない情報や最新案内を載せていくウェブサイトを開設予定です。乞うご期待。

- 主な内容
- 目立てが楽しくなる一步手前のキホン
  - チェーンソーの選び方その②

11月の仁多中学校みもスクール(林業体験)のレコマ▶

2022年冬号(第11号) 令和4年12月28日発行

## 目立てが楽しくなる 一步手前のキホン

前号では、春秋の技術研修にちなんで、チェーンソー操作の基本姿勢を振り返りました。

今号はチェーンソーの目立て。「何度も使っているけど、目立てするなんて知らなかった」という方は珍しくありません。「わかっ

ているけどやったことがない」「切れなくなったら新品に替える」という声もあります。

目立ての技術そのものはシンプルで誰にもできることですが、単純なことほど奥深く複雑であることも事実。できるまでに時間もか




◀こちらは6月実施の横田中学校みもスクール(林業体験)より。伐倒後の切株からわかることは？ 山仕事の楽しさを伝えていきたいですね。

かります。山仕事全般にいえることですが、てっとり早いハウツーはありません。ただ、できるようになると、気持ちよく、効率よく仕事ができ、安全性も高まります。機械も長持ちして経済的。自信もついてやる気もまして、技術も向上していきます。

### 誰でも楽しくなる たったひとつの方法

さて目立て。まず、新品がベストでもないですし、「やってもらう」のもよくない。どんな木を、どれくらい、どんな用途で伐るか…など、いろいろな要因で目立ては変わってきます。

また、新品には「フック気味」の刃もあるようです。そのほうが「切れる」感じがしますからね。その代わり刃が痛み (裏へ続く) 

#### チェック

### 1 目立て必要最低限の道具 (あるといい、便利なのは他に多々あれど)

① クランプ(バイス)…バーをきちつと固定できるものならなんでもよい。

② デブスゲージジョインター…付属工具のひとつ。バーの溝掃除にも使えるタイプが便利。

③ 掃除ブラシ…スチール製等なんでも使いやすいものを。オイルや汚れがこびりついたら灯油等で洗う。

④ 丸やすり…ソーチェーンによって適合サイズが異なる。刃が減ってきた時や損傷が激しいときでもサイズを使い分ける。メーカーごとの適合表参照。柄はジット方式なら枝木などで自作。金属小片やゴミはこびりつきやすい。ついたらそのまま使い続けると研ぎにくいし痛みやすいので、こまめに掃除する。目立て途中、ポンポンと叩くだけでも。



⑤ 平やすり…デブスゲージ用。

⑦ ウェス…実は必需品。

⑧ コンビネーションレンチ…バーの着脱、チェーンの張りを調整。

⑨ 手袋…怪我防止というより刃をしっかりと固定する役割などのため。

やすく、キックバックを起こしやすい、硬い樹種だと振動も多い……要するに危険です。新品でも目立てが必要と捉えるのが吉。

多少下手でも自分でやりながら上達していくのがいちばん。コツはただひとつ。とにかく、時間をかけて、うまくいくまで何度でもやってみること。アマチュアの場合、機会も限られますが、前号でとりあげた「基本姿勢」同様、山に行かなくてもできることのひとつです。

合、機会も限られますが、前号でとりあげた「基本姿勢」同様、山に行かなくてもできることのひとつです。

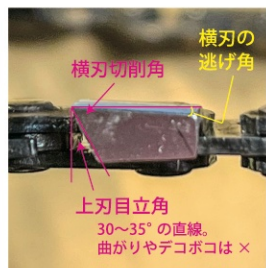
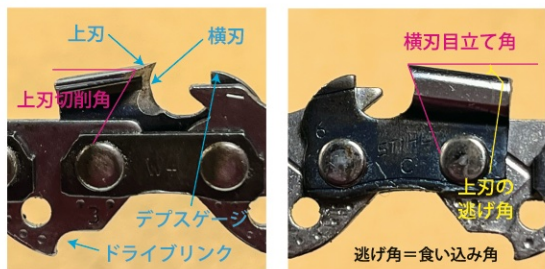
## バジッときまって、スーッと切れる快感

テキストのおすすめは右の『伐木造材とチェーンソーワーク』。

通称ジット式と呼ばれる人間工学に基づいた方法は論理的で独習も容易です。とっつきにくいところもありますが、つまづいたときに読み直すと実にわかりやすい。手元において損はありません。

目立てがうまくできているのかどうかは、伐ってみれば、気持ちよくすーっと刃が入るのでわかり

### チェック 2 じっと刃を見るためのこと



横刃と上刃を同時に研ぐ。最終的に上刃の目立角30~35°でヤスリ上部20%が上刃より上に出た状態でバリが均等に出るまで。切削角はともに60°\*。補助道具は多種あるが、感覚が大事。  
\*まず60°を覚えること。時計の秒針1/3目盛が1°。60°は20秒の位置。



▲ジット・ネットワークサービスの石垣氏と米津氏が書いている『伐木造材とチェーンソーワーク』は目立てから伐倒・造材・ロープワークと一通りを理論的に網羅。また、全国林業改良普及協会から出ている林業現場人道具と技シリーズは現在 vol.20 まで刊行。どちらもおすすめ。

ます。逆によくはない刃とは、桧・杉の場合なら、粉状のクズしか出ない場合。切れている刃なら、細長いかんなくずに似た形状です。

まとめると、理論を理解しながらも、気持ちよく切れるという感覚を頼りに試行錯誤を重ねること。教えてもらえる人がいればなおよし。会員向け出張研修という制度もあります。ご活用ください。



## チェーンソーの選び方・その②

「持っていないけど、何を買ったらいいのかわからないのか」「買い替えたほうがいい？」——そんな質問にこたえる連載の第2回です。

今回は選択の基準になる考え方として、①軽いもの、②小排気量のメリット、のふたつを紹介しました。大まかにいって、小さいほうが扱いやすく、上達して大きめを買えばいいというお話でした。今回は、まず一台で使うことを考えれば、中型だよというお話。

### 考え方③ 中排気量のメリット

中排気量は40~50ccくらいをさします。いわゆるプロ用、すなわち山林用のチェーンソーが多くなります。

製品の種類も格段に豊富で、新製品開発も盛んです。実は小さなものより技術向上にプラスの面も(前回①と矛盾するようですが、目立て・メンテナンスを含め、うまく使えばきちんと効果を返してくれる面)。汎用性も大。バリエーションの種類、ソーチェーンの選択肢も広がります。また、硬い広葉樹の伐倒・造材(薪づくり含め)も楽ですし、はかどります(早い・楽ちゃんは安全面でも重要)。

考え方④ 何を買うかよりどこで買うか  
チェーンソーはメンテナンスしながら十年二十年と使えるもので

す。部品の調達交換はもちろん、不調時の修理調整など、敷居の高いことも多々。頼りになるショップは仕事の片腕くらい重要です。プロが行く店、技術経験知識とも豊富などところを選びましょう。

### お知らせとお願い

- 冬の研修&共同出荷のご案内は1月に郵送の予定です。
- 機械や道具の貸出し、山の困りごとの相談など、事務局あるいは地域コーディネーターまでお気軽にどうぞ。

●奥出雲町オロチの深山きこりプロジェクト事務局  
〒699-1431 上三所 66-1  
☎ & FAX: 54-1635  
メール kikori@s-orochoi.org

▲50ccの新ダイワE2050SDS(共立のCS500DEは同じもの)。共立の刈払機でもおなじみのiスタート採用で始動が楽ちゃん。

◀43cc クラスで評判の高い共立 CS43RS。(新ダイワ E3043SP は同じもの)。

